平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月8日

上場会社名　株式会社 システムインテグレータ　　上場取引所　東
コード番号　3826　URL　http://www.sint.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 梅田　弘之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 山田　ひろみ　TEL 048-707-7061

四半期報告書提出予定日　平成25年10月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	1,611	31.9	223	6.0	225	6.1	140	4.6
25年2月期第2四半期	1,221	30.2	211	132.8	212	162.2	134	214.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	25.66	25.35
25年2月期第2四半期	25.49	24.50

当社は、平成24年9月1日付で普通株式1株につき200株の割合で、また、平成25年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いましたが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	2,347	1,699	72.4
25年2月期	2,096	1,597	76.2

(参考) 自己資本　26年2月期第2四半期　1,699百万円　25年2月期　1,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	―	0.00	―	20.00	20.00
26年2月期	―	0.00			
26年2月期(予想)			―	11.00	11.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成25年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いましたが、平成25年2月期の期末配当金については、当該株式分割前の実績を記載しております。

3. 平成26年 2月期の業績予想(平成25年 3月 1日～平成26年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,920	9.9	420	3.4	421	3.3	262	5.5	47.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	5,539,200 株	25年2月期	5,419,200 株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	― 株	25年2月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	5,466,156 株	25年2月期2Q	5,259,200 株

(注) 当社は、平成24年9月1日付で普通株式1株につき200株の割合で、また、平成25年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いましたが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 5
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 5
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
３．四半期財務諸表 …… 6
（１）四半期貸借対照表 …… 6
（２）四半期損益計算書 …… 7
第２四半期累計期間 …… 7
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

①　全般

当第２四半期累計期間の業績は、売上高1,611,229千円（前年同四半期比31.9%増）、売上総利益519,778千円（前年同四半期比9.8%増）、営業利益223,803千円（前年同四半期比6.0%増）、経常利益225,001千円（前年同四半期比6.1%増）、四半期純利益140,268千円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

前事業年度から引き続き「SI Web Shopping」及び「GRANDIT」関連の大規模開発案件が継続しており、特に本事業年度は「GRANDIT」関連の開発案件が順調に進捗し業績に貢献しております。また、利益率の高いプロジェクト管理システム「SI Object Browser PM」も好調に推移しています。その結果、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、好調であった前年同四半期を上回り、全体の業績は順調に推移しています。

②　製品区分別の概況

当社は、パッケージソフトウェア関連事業の単一セグメントでありますが、製品区分別に分類して業績の概況を説明いたします。

当社の製品は、ソフトウェア開発支援ツール「SI Object Browser」シリーズ、 ECサイト構築パッケージ「SI Web Shopping」、 Web-ERPパッケージ「GRANDIT」、そしてプロジェクト管理パッケージ「SI Object Browser PM」という４つの市場・製品群から構成されています。

当社では、パッケージソフトウェアの企画・開発から販売・保守までを自社にて一貫して行っています。長年にわたって培った「パッケージソフトウェア業務のノウハウ」を当社の強みとしています。さらに、その関連ビジネスとして、パッケージカスタマイズとコンサルティングも手掛けており、パッケージソフトウェアを中心に強みを活かした効率的なビジネス拡大を図っています。

（製品別業務対応表）

製品	発売時期	パッケージ企画・開発	パッケージ販売・保守	カスタマイズ	コンサルティング
SI Object Browser	平成9年8月	○	○	―	―
SI Web Shopping	平成8年3月	○	○	○	○
GRANDIT	平成16年5月	※	○	○	○
SI Object Browser PM	平成20年11月	○	○	○	○

※GRANDITは、コンソーシアム形式で開発され、当社は企画段階から参画しています。

＜ソフトウェア開発支援ツール「SI Object Browser」関連＞

「SI Object Browser」は、データベース開発支援ツール「SI Object Browser」、データベース設計支援ツール「SI Object Browser ER」の２製品から構成されます。いずれもソフトウェア開発の生産性を向上させるツールとして業界で多く利用されており、安定した収入源となっています。

また、保守の有料化サポートは、ストック型ビジネスとして継続的な市場浸透と安定した事業収益をあげています。

「SI Object Browser」関連の当第２四半期累計期間の売上高は156,225千円（前年同四半期比12.0％減）、売上総利益144,886千円（前年同四半期比11.0％減）と前年同四半期を下回っていますが、前年同四半期は新製品の効果により好調であったための反動によるものであり、当初の計画通りに推移しています。

また、６月に新製品となる「SI Object Browser Designer」をリリースしました。今後はこの製品が「SI Object Browser」シリーズの中心となる主力製品に成長するものと期待しています。

＜ECサイト構築パッケージ「SI Web Shopping」関連＞

「SI Web Shopping」は、日本初のＥＣサイト構築パッケージとしてネット通販市場の拡大とともに事業規模も順調に拡大してきましたが、当第２四半期累計期間は、売上高は519,524千円（前年同四半期比7.7％減）、売上総利益92,312千円（前年同四半期比42.2％減）となりました。

減収減益となった主な要因は、前年同四半期が対前同四半期比で売上高111.8％増、売上総利益240.8％増と大幅に伸長した反動もありますが、特定の不採算プロジェクトが発生し製品区分全体の採算に大きく影響したことなどによるものです。

今後のＥＣ市場は引き続いて堅調に推移することが期待されます。これまで手作り（カスタムメイド）で構築してきたＥＣサイトの多くが仕組みの陳腐化、パフォーマンスの限界、セキュリティ対策の遅れ等の問題を解消するために、長年ＥＣサイト構築を行ってきたノウハウと数多くの実績を持つ「SI Web Shopping」へのリプレースが増えています。また、不採算プロジェクトは既に収束しており、下期はその影響がなくなるため、引き続き積極的に投資を行い、「SI Web Shopping」の強みである大規模ＥＣサイト中心の拡販戦略により、ＥＣサイト構築のデファクト・スタンダードを目指していきます。

＜Web-ERPパッケージ「GRANDIT」関連＞

当社では、取締役をはじめ従業員の多くが長年ＥＲＰに携わっており、その豊富な業務ノウハウが評価され、事業規模は順調に拡大してきました。当第２四半期累計期間においても前事業年度から引き続いて市場環境は堅調に推移しています。当第２四半期累計期間の売上高は743,399千円（前年同四半期比98.7％増）、売上総利益190,176千円（前年同四半期比86.4％増）と大幅な増収増益となりました。

GRANDIT事業はコンソーシアム方式なので、同一製品を複数のコンソーシアム企業が販売するため、差別化要因として当社独自のアドオンモジュールを用意し、他のコンソーシアム企業にはない展開を図っています。当社独自製品である「個別生産管理アドオンモジュール」、「繰返生産管理アドオンモジュール」、「継続取引管理アドオンモジュール」を活かして、主に製造業向けの販売・受注が拡大しています。さらに、当社の自社開発パッケージ「SI Object Browser PM」との組合せにより、ＩＴ関連企業への導入事例も増えています。

＜プロジェクト管理パッケージ「SI Object Browser PM」関連＞

「SI Object Browser PM」は、上述のソフトウェア開発支援ツール「SI Object Browser」シリーズのひとつとして、平成20年11月にリリースされました。その後、着実に市場浸透が進み、現在では上記３製品につづく第４の柱へと成長し、市場からも高い評価を得ています。業績は発売開始から順調に拡大を続け、導入企業も70社を超えました。当第２四半期累計期間の売上高は112,079千円（前年同四半期比26.3％増）、売上総利益74,827千円（前年同四半期比89.7％増）と大幅な増収増益となっています。

プロジェクト管理を総合的にカバーするという発想は他に例がなく、現時点で競合する製品がほとんどない状況なので、その優位性を活かし販売拡大を図り、プロジェクト管理システムのデファクト・スタンダードを目指しています。

なお、ご参考として、製品区分別の売上高及び売上総利益に関する前年同四半期比較表及びその推移グラフを以下に示します。GRANDITとSI Object Browser PMが特に売上高、売上総利益ともに前年同四半期を大きく上回り、好調に推移しています。

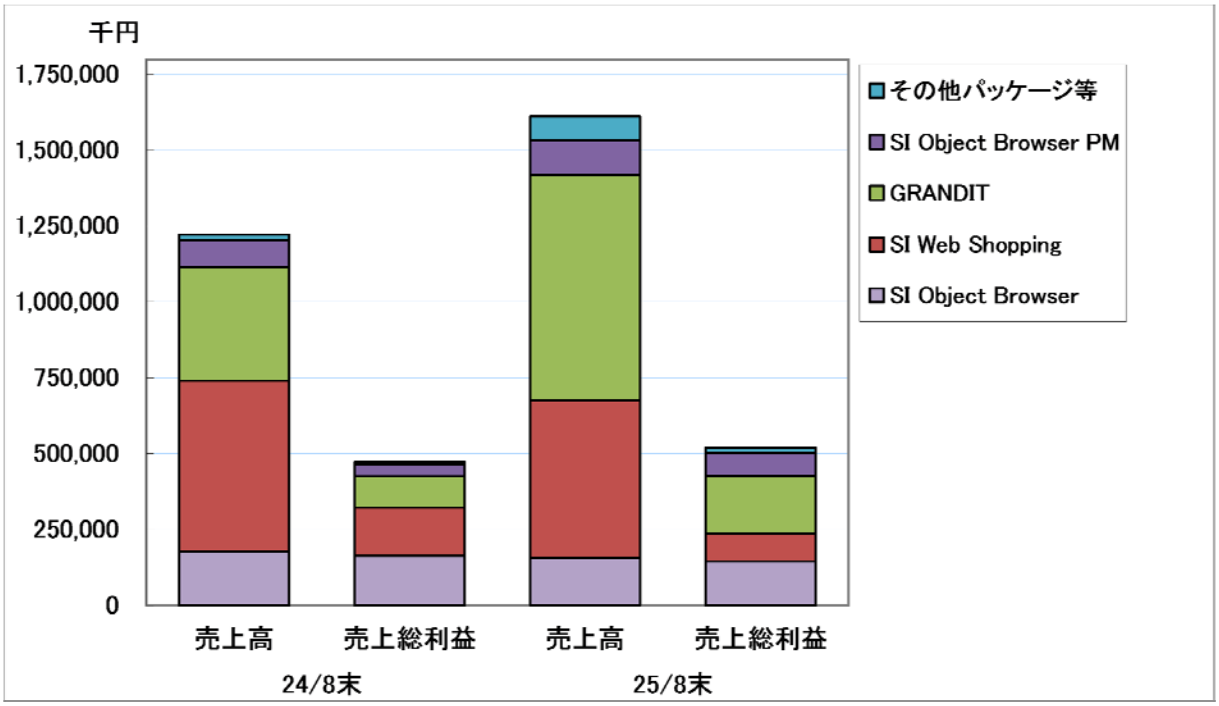
また、「その他パッケージ等」については、売上高で前年同四半期比445.3%と大きく伸びています。これは創業直後から長期にわたりサポートしているお客様の大規模なリプレース時期にあたったためです。こちらのシステム開発は５～６年周期でリプレースされており、今期と来期にかけて行われます。

製品区分別の売上高及び売上総利益

ａ.前年同四半期比較表

製　品　区　分	前第２四半期累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日）		当第２四半期累計期間 （自　平成25年３月１日 至　平成25年８月31日）		前年同四半期比 （%）	
	売上高 （千円）	売上総利益 （千円）	売上高 （千円）	売上総利益 （千円）	売上高	売上総利益
「SI Object Browser」関連	177,440	162,858	156,225	144,886	88.0	89.0
「SI Web Shopping」関連	562,879	159,713	519,524	92,312	92.3	57.8
「GRANDIT」関連	374,104	102,052	743,399	190,176	198.7	186.4
「SI Object Browser PM」関連	88,758	39,445	112,079	74,827	126.3	189.7
その他パッケージ等	17,963	9,195	80,000	17,575	445.3	191.1
合計	1,221,146	473,266	1,611,229	519,778	131.9	109.8

b.前年同四半期、当第２四半期の推移グラフ



（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前事業年度末に比べ216,166千円増加し2,107,239千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加120,175千円、受取手形及び売掛金の増加99,627千円などによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ34,408千円増加し239,784千円となりました。これは主として、ソフトウェアの増加15,207千円、投資有価証券の増加12,312千円、敷金及び保証金の増加8,827千円などによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ250,575千円増加し2,347,024千円となりました。

負債は、前事業年度末に比べ148,562千円増加し647,884千円となりました。これは主として、買掛金の増加37,058千円、前受金の増加69,596千円などによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ102,012千円増加し1,699,139千円となりました。これは主として、四半期純利益の計上140,268千円、資本金及び資本準備金の増加各3,990千円並びに配当金の支払い54,192千円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,167,347千円となりました。主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは222,021千円のプラス（前年同四半期は120,956千円のプラス）となりました。これは主に税引前四半期純利益の計上224,985千円、前受金の増加69,596千円、仕入債務の増加37,058千円などの資金増加要因が、売上債権の増加99,627千円などの資金減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは56,556千円のマイナス（前年同四半期は71,543千円のマイナス）となりました。これは無形固定資産の取得による支出45,651千円、敷金及び保証金の差入による支出9,076千円などによるものであります。無形固定資産の取得による主な支出は、自社パッケージ開発に伴うソフトウェアの増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは45,289千円のマイナス（前年同四半期は32,294千円のマイナス）となりました。これは新株予約権の行使による収入7,980千円及び配当金の支払い53,269千円によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は、「SI Web Shopping」関連を除き概ね計画通りに推移しています。2013年2月19日に公表した新中期経営計画「Progress2013」において、『「筋肉質な会社」を維持しつつも、「成長＝売上の拡大」路線に舵を切り、売上拡大を実現する』を基本方針に掲げており、更なる売上高の拡大と利益の確保を目指し事業活動を行っており、現時点では計画の大きな修正要因は見受けられません。

以上の事から通期の業績につきましては、平成25年7月9日に公表した業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年２月28日）	当第２四半期会計期間 （平成25年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,047,172	1,167,347
受取手形及び売掛金	639,789	739,417
仕掛品	130,839	79,023
貯蔵品	127	108
その他	73,979	122,305
貸倒引当金	△835	△963
流動資産合計	1,891,072	2,107,239
固定資産		
有形固定資産	10,514	10,463
無形固定資産		
ソフトウエア	123,799	139,007
その他	10,670	8,781
無形固定資産合計	134,469	147,788
投資その他の資産	60,391	81,532
固定資産合計	205,376	239,784
資産合計	2,096,448	2,347,024
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,890	182,949
未払法人税等	95,066	92,828
賞与引当金	65,097	68,692
受注損失引当金	1,798	10,344
その他	187,226	284,533
流動負債合計	495,078	639,346
固定負債	4,243	8,537
負債合計	499,322	647,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,722	367,712
資本剰余金	353,722	357,712
利益剰余金	870,933	957,009
株主資本合計	1,588,377	1,682,433
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,749	16,705
評価・換算差額等合計	8,749	16,705
純資産合計	1,597,126	1,699,139
負債純資産合計	2,096,448	2,347,024

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年３月１日 至　平成25年８月31日）
売上高	1,221,146	1,611,229
売上原価	747,880	1,091,451
売上総利益	473,266	519,778
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	80,557	91,004
賞与引当金繰入額	11,326	12,220
貸倒引当金繰入額	－	128
その他	170,233	192,621
販売費及び一般管理費合計	262,117	295,974
営業利益	211,148	223,803
営業外収益		
受取配当金	3	394
為替差益	532	－
受取手数料	－	562
その他	470	241
営業外収益合計	1,006	1,198
営業外費用		
為替差損	－	0
営業外費用合計	－	0
経常利益	212,155	225,001
特別利益		
投資有価証券売却益	550	－
特別利益合計	550	－
特別損失		
固定資産除却損	0	15
特別損失合計	0	15
税引前四半期純利益	212,705	224,985
法人税、住民税及び事業税	71,961	88,759
法人税等調整額	6,705	△4,041
法人税等合計	78,667	84,717
四半期純利益	134,037	140,268

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年３月１日 至　平成25年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	212,705	224,985
減価償却費	28,130	33,573
賞与引当金の増減額（△は減少）	△607	3,594
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△214	128
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△5,894	8,546
受取利息及び受取配当金	△11	△417
有価証券利息	△181	△100
固定資産除却損	0	15
投資有価証券売却損益（△は益）	△550	－
売上債権の増減額（△は増加）	14,894	△99,627
たな卸資産の増減額（△は増加）	△46,268	51,834
仕入債務の増減額（△は減少）	28,371	37,058
未払又は未収消費税等の増減額	△12,134	7,322
前受金の増減額（△は減少）	35,271	69,596
その他	△2,463	△23,255
小計	251,049	313,254
利息及び配当金の受取額	192	517
法人税等の支払額	△130,285	△91,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,956	222,021
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,059,818	△929,899
有価証券の売却による収入	1,059,818	929,899
有形固定資産の取得による支出	△4,410	△1,918
無形固定資産の取得による支出	△47,342	△45,651
投資有価証券の取得による支出	△20,340	－
投資有価証券の売却による収入	550	－
敷金及び保証金の差入による支出	－	△9,076
敷金及び保証金の回収による収入	－	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,543	△56,556
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	－	7,980
配当金の支払額	△32,294	△53,269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,294	△45,289
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	17,118	120,175
現金及び現金同等物の期首残高	1,070,684	1,047,172
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,087,803	1,167,347

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。